

- 72.これがあなたがたの行ったことに対し、あなたがたに継がせられた楽園である。
- 73.そこにはあなたがたのために豊富な果実があり、それにあなたがたは満足する。
- 74.罪を犯した者は、地獄の懲罰の中に永遠に住む。
- 75.(懲罰は)かれらのために軽減されず、その中で全く希望を失う。
- 76.われがかれらに不装を働いたのではない。かれらが(自ら)不義を働いたのである。
- 77.かれらは、「看守よ、あなたの主に頼んでわたしたちの始末を付けて下さい。」と叫ぶ。しかし、かれは(答えて)、「あなたがたは、滞留していればよいのである。」と言う。
- 78.われは確かにあなたがたに真理を届けた。だがあなたがたの多くは、真理を嫌った。
- 79.かれら(マッカの多神教徒たち)は、(使徒に対し)策謀を張り廻らしたつもりだろうが、われこそ、(かれらに対して策謀を)廻らしてある。
- 80.それともかれらは、われがかれらの秘めごとや謀議を、聞かないとでも思うのか。いや、わが使徒たち(天使)は、かれらの傍らで記録している。
- 81.言ってやるがいい。「もし慈悲深き御方が子を持たれるなら、このわたしがその最初の崇拜者となる。
- 82.天と地の主、(大権の)玉座の主、かれらの配するものを(超絶なされる)主に讃えあれ。」
- 83.それであなたがたは、約束されたかれらの日に当面するまで、かれらが無駄口と戯れに放置しておくがいい。
- 84.かれこそは天における神、また地における神であり、英明にして全知であられる。
- 85.天と地の大権、そしてその間の凡てのものが帰属する方、かれに祝福があるように。またかれの御許にだけ(審判の)時の知識はあり、われの御許にあなたがたは帰されるのである。
- 86.かれの外に、かれらが祈るものは、執り成す力を持たない。只真理を実証する者は別である。かれらは(使徒を)知っている。
- 87.もしあなたがかれらに、「誰がかれらを創ったのですか。」と問えば、必ず「アッラー。」と言う。それなのに、かれらはどうして(真理から)迷い去るのか。
- 88.(われは預言者が)「主よ、これらの者は本当に不信の民です。」と言うのを(聞いた)。
- 89.(それで主は仰せられた。)かれらから逸れて去りなさい、だが「平安あれ。」と(挨拶して)言いなさい。やがてかれらも知るであろう。

## SURA 44.煙霧章 [アッ・ドハーン]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.ハー・ミーム。
- 2.（事物を）明瞭にする，この啓典にかけて（誓う）。
- 3.本当にわれは，祝福された夜，これを下して，（悪に対して不断に）警告を与え（ようとす）るものである。
- 4.その（夜）には，英知に就いて凡ての事が明確にされる。
- 5.わが許からの命令である。本当にわれが何時も使徒を）遣わすのは，
- 6.あなたの主からの慈悲である。本当にかれは，全聴にして全知であられ，
- 7.天と地，そしてその間の凡てのものの主である。もしあなたがた（の信仰）が確かならば。
- 8.かれの外に神はなく，生を授け死を授けられる。あなたがたの主，またあなたがたの祖先の主であられる。
- 9.それなのにかれらは疑って，戯れている。
- 10.待っていなさい，天が明瞭な煙霧を起す日まで。
- 11.（それは）人びとを包む。（かれらは言う）。「これは痛ましい懲罰です。」
- 12.「主よ，わたしたちからこの懲罰を免じて下さい。本当に信仰いたします。」
- 13.どうして（再び）かれらに訓示があろう。かれらには公明な使徒が確かに来たのに，
- 14.かれらがかれ（使徒）から背き去って，「他人に入れ智恵された者，（ほ？）かれた者です。」と言ったではないか。
- 15.われが暫くの間，懲罰を解除すると，あなたがたは必ず（不信心に）戻る。
- 16.われが猛襲する（審判の）日，本当にわれは，（厳正に）報復する。
- 17.かれら以前にも，われはフィルアウンの民を試・た。その時かれらに尊い使徒（ムーサー）が来て，
- 18.（言った。）「アッラーのしもべたち（イスラエルの子孫）を，わたしに返しなさい。本当にわたしは，あなたがたの許にやって来た誠実な使徒です。
- 19.アッラーに対して，高慢であってはなりません。本当にわたしは明白な権威をもって，あなたがたの所にやって来たのです。
- 20.あなたがたが（わたしを）石撃ちにするなら，わたしそしてあなたがたの主でもある御方に，救いを求めます。
- 21.もしあなたがたが，わたしを信じないならば，わたしには構わないでください。」
- 22.そこで，かれは主に祈つ（て言っ）た。「これらは罪深い人びとです。」

23. (主の御答えがあった。)「あなたは夜の中に、わがしもべと共に旅立て。必ずあなたがたに追っ手がかかろう。
- 24.そして海は(渡った後)分けたままにして置け。本当にかれらは、溺れてしまうことであろう。」
- 25.かれらは、如何に多くの園と泉を残したか。
- 26.また(豊かな)穀物の畑と、幸福な住まいを、
- 27.またかれらがそこで享樂していた良い物を(残したか。)
- 28.(かれらの最後は)こうであった。そしてわれは、外の民に(それらを)継がせた。
- 29.かれらのために、天も地も泣かず、かれらに猶予も与えられなかった。
- 30.われは、イスラエルの子孫を屈辱の懲罰から救い、
- 31.フィルアウンから(救い出した)。本当にかれは、高慢で無法者であった。
- 32.われは思うところにより、かれらを諸民族の上を選んだ。
- 33.そして明白な試練を含む、数々の印を与えた。
- 34.さてこれら(マッカの偶像信者)は(愚かにも)言う。
- 35.「わたしたちは最初死ねば(2度と)起こされない。
- 36.もしあなたがた(の言葉)が真実なら、わたしたちの祖先を連れ戻して・なさい。」
- 37.かれら(マッカの偶像信者)はトッバウの民か、またそれ以前の者たちより優れているのか。われはかれら(諸民族)を滅ぼしたのである。本当にかれらは罪を犯した者であった。
- 38.われは天と地、そしてその間にある凡てのものを、戯れに創ったのではない。
- 39.われは、天地とその間の凡てのものを、只真理のために創った。だが、かれらの多くは理解しない。
- 40.本当に(善悪の)選別の日は、凡てのものに定められた日である。
- 41.その日、友はその友のために何も役立てず、またかれらは援助も得られない。
- 42.だがアッラーの御慈悲を被むった者たちは別である。本当にかれは偉力ならびなく慈悲深くあられる。
- 43.本当にアッ・ザクームの木こそは、
- 44.罪ある者の糧である。
- 45.それは溶けた銅のように内臓の中で沸騰しよう、
- 46.熱湯が滾りかえるように。

- 47.（声がして言われよう。）「かれを捕えよ、燃えさかる炎の只中に、引きずり込め。
- 48.それから、かれの頭の上に沸騰する湯の痛苦を浴びせよ。
- 49.あなたは（これを）味わうがいい。本当にあなたは、力のある尊貴な者であった。
- 50.これこそあなたがたが、疑っていたものである。」
- 51.本当に、主を畏れた者は、安泰な所にいる。
- 52.園と泉の間に、
- 53.絹や錦を纏い、栗いに向かい合って、
- 54.このようにわれは、輝いた大きい目の乙女たちをかれらの配偶者にするであろう。
- 55.かれらはそこで平安に、凡ての果実を求められ、
- 56.最初の死の外に、そこで（再び）死を味わうことはなく、燃える炎の責め苦から守護されよう。
- 57.あなたの主からの賜物、それこそは至福の成就である。
- 58.われはこの（クルアーン）を、あなたの言葉（アラビア語）で（下し）分りやすくした。かれらは、理解し諭されるかもしれない。
- 59.だからしばらく待つて様子を見なさい。本当にかれらの方も様子を伺っているのだから。

## SURA 45.跪く時章〔アル・ジャーシヤ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.ハー・ミーム。
- 2.この啓典の啓示は、偉力ならびなく英明な、アッラーから（下されたもの）である。
- 3.本当に天と地には、信者たちにとり種々の印がある。
- 4.またあなたがた自身の創造、そしてかれが（地上に）撒き散らされた生きとし生けるものには、信心堅固な者に対し、種々の印がある。
- 5.昼と夜との交替、またアッラーが天から下された糧、それによって死んでいる大地が甦ること、また風向きの変化にも、知性ある者への種々の印がある。
- 6.これらは、真理によってわれがあなたに読誦するアッラーの印である。アッラーとその啓示以外に、どんな説諭を（かれらは）信じようとするのか。
- 7.災いなるかな、凡ての罪深い嘘付き者たちよ。
- 8.アッラーの啓示がかれに読誦されるのを聞いても、なお強情、高慢で、それが聞こえないかのようである。それなら痛ましい懲罰をかれらに告げ知らせよ。